第二種 (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十六年七月三十日(水曜日) 臺灣日日新報 第一万四千八百六十七號 (一)

臺灣日日新報
夕刊
七月二十九日

專賣特許 セール 一袋十三錢 石鹸みがき粉 臺北 藤田本店

蘭印又も對日暴狀 石油協定を停止

共榮圈妨碍に積極工作

【バタヴイア二十八日發同盟】蘭印政廳は二十八日、一九四〇年の日蘭石油協定を停止する旨發表した

金融協定停止蘭印側の説明を聽取

【バタヴイア二十八日發同盟】石澤總領事は二十八日午後時半ファンモーク經濟相を訪問、今川正金銀行支店長に對しジャヴァ銀行ヴイッツヘルス總裁より廿七日夜通達し來つた日蘭金融協定停止につき蘭印側の説明を聽取した

在英支那資產凍結

英、重慶の要請を容る

【ロンドン二十八日發同盟】英外務省は二十八日重慶政府の要請に基き在英支那政府資金並びにその他の資產を凍結せしめるに決し二十九日よりその措置を執る旨發表した

既定計畫の再編餘儀なし せず

武部滿洲國總務長官歸任談

南方協會役員會議あす開催

府文教局國語教科書打合會開催

馬公要港部松本參謀長視察 各地日程發表

對日措置を再檢討

英大使、米國務次官協議

【ワシントン二十八日發同盟】ハリファックス英大使は二十八日ウエルズ國務次官と會見英米兩國の對日經濟措置につき協議を行つた右會見後同大使は記者團に對し次の如く語つた

生絲杜絕せば人絹で落下傘

米海軍當局豪語

一千萬弗を貸與

米、比島の防備費用に

米陸軍將校に比島在勤命令

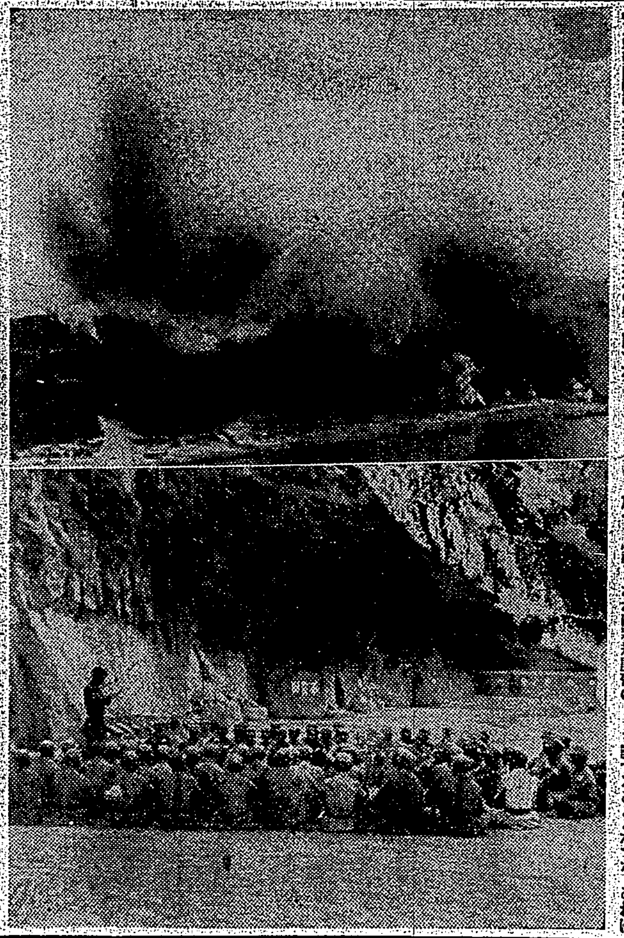
米下院、國防追加豫算案可決

極東新情勢の批評を回避

ウェルズ國務次官一問一答

最近の重慶と重慶軍

舍前で政治教育を受ける重慶軍



㊤我空襲下の重慶㊦陝西省潼關の懸崖を利用した防空兵

邦船出港悉く許可

ウ次官、野村大使に申出

邦船抑留せず

米國務省發表

西半球侵犯せば墨國進んで參戰

カマチョ大統領言明

對日資產凍結 共榮圈強化 佛印、財界觀測

對英米輸出許可證發給許否

上海海關受命

在重慶の獨伊大使館封鎖

交趾に人心安定の布告發布

加藤大使ダルラン佛副首相要談

西貢の重慶派華僑三紙發行停止

ベッサラビア方面スターリン線突破

獨軍、赤軍の抵抗を制壓

スモレンスクの包圍戰終結

獨軍司令部發表

モギレフ地區の赤軍投降兵三萬五千

ソ聯發表戰況

ピブン泰國首相 三軍統帥の權力

陸海軍大將に任ぜらる

內地木炭の價格改訂

軍、師團に兵務部

勅令公布、八月一日新設

陸軍兵務部令

松阪檢事總長親任親補式

刑事局長 田檢事

設立

當局に進言

凍結令、綿業界不安なし

勞務協力會費助員を臺北州招致懇談

人事

無絃琴

三國志

(550)

(出廬の卷)

吉川英治作

矢野橋村畫

腸にガスが溜るから チャヤコール錠

化膿症 双球菌性 には 問題のスルフ アピリヂン トリアノン 適劑を適症に用ひよ！と叫ばれ…… 田邊發賣品

タバコのみの 歯磨スモカ 親の慾目で讃めるぢやないが スモカ育ちのこの齒を御覧！

頭痛に 原因的鎮痛作用 ハセスロール 頭痛の原因をなす腦血管に作用して病的緊張と痙攣を解き腦血流を圓滑ならしめる故に、頭重・眩暈・逆上・嘔氣等の隨伴症を伴ふ心身過勞倦怠時の鈍痛性頭痛に最適する

矢の如く動く訓練
全國の國民學校に指令して
戰時國內體制の萬全策

【東京發同盟】文部大臣が自ら統轄して居る大日本青少年團では既に全國國民學校に

指令 して兒童の集團訓練を開始して居るが時局に鑑み關心を以て全國青年訓練で組織して居る日本青年教師團では全國國民學校に呼びかけて有効適切なる兒童の集團訓練方法を示し戰時國內體制の萬全を期する事になつた、この訓練は東京市內一部學校では二十八日から試驗的に實施して居るが、其の具體的方法は登校退校の際ばらくであるが、先づ集團的に進むと云ふ事と校內に於いて授業中、休み時間中を問はずサイレン一下校庭に整然と列を作る事等だが教師團で教へてゐる方法は一校全兒童を單位少年團と稱し

校長 を團長に十分團に分け一分團を七班乃至八班に再び分ち、一班は十五名程度から成り班長は兒童が當り其の他がこの組織に依つて例へば登校の際學校から一番遠い兒童が次々に誘び合せて一番學校に近い兒童の家の前に整列、一列乃至二列縱隊を以て學校に向ひ、下校の際も同樣隊伍で歸途に就くと云ふのである、この外校內に於ける非常召集から敵襲的な避難訓練など集に當つた場合慌てず騷がず呼笛の下矢の樣に動く訓練を目ざすもので同團では來月九日から四日間聯合本部で開く部年教師夏季大學で都下青少年指導者及び國民學校

訓導 約三百名が集まつて歐米に現に行はれつつある兒童訓練の實際なども參酌しつつ危機の日の兒童の歩き方に就いて徹底的に檢討する豫定である

各地區防衛團內に分團を設置
島都の防衛陣を完璧へ

現下の時局に鑑み臺北市では先般來島都防衛團の強化を期すべく研究を重ねた結果、現在の城內、城北、城東、城南、東北、松山の七地區防衛團の區域は活動單位として城內、城西兩地區を除く其の他の各地區の區域があまりにも廣大に過ぎるのでこの區域の大きい地區防衛團內にこつまた三つの分團を設置し、有事に際し十分なる機能を發揮せしめ島都防衛の完璧を期する事となつた……

分團編成要綱

目を引く鳩群の活躍
新竹州下の第二防訓終幕

親爺の再來
松阪さんを迎へて喜ぶ青壯檢事連
司法部の人氣男松坂廣政

和知參謀長
臺中州下へ

婦德練磨に勵む乙女達

臣民の道 國民道德を說く (2)
忠を以て君に事ふは これ臣子の恒道なり

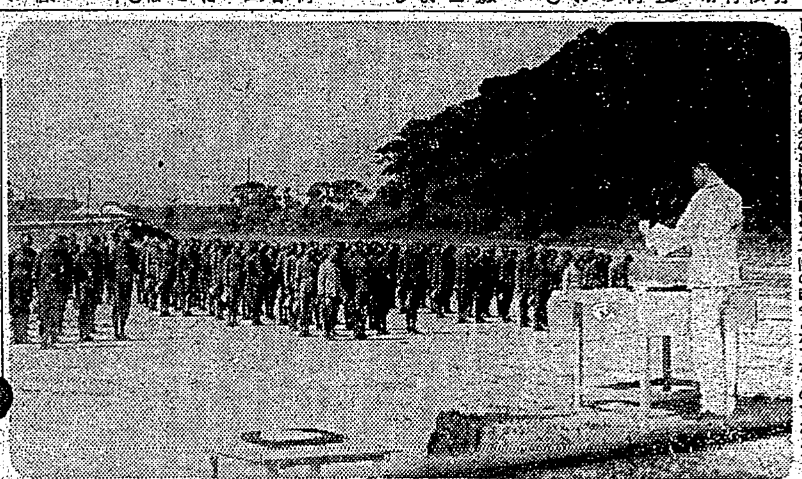
靜かに婦德を練磨
乙女達研修道場に合宿

朝の諸行事など

女學校長ら
總督招待

見事な態度!
勤報青年隊ら退隊式

あす解隊式



九十一箇所の停留所廢止

あすの天氣

各地の溫度

ブラック美肌クリーム ホルモン・ビタミン配合で 肌を美しく健康に

淡白な食物にかたより… 活力榮養劑 ハリバ

美しくとりきびにきび 美顏水 ニキビ吹出物に

日本盆踊り みんな輪になれ ポリドール・レコード

臺日案内 醫院 性病科 永吉醫院

中風・高血壓・神經痛 原因を明にした 今津博士の素晴しい研究 不治でない

支那の夜 服部富子 迎春花 南京の夜 …… テイチク・レコード

脚氣に 強力ビタミンB劑 オリザニン 三共 SANKYO 東京・室町 三共株式會社

南方共榮版

外交戰渦巻く盤谷
重慶は踊子を手先

バンコックにて 若林特派員

東洋唯一の中立國タイ國は歐洲大戰勃發以來外交戰の中心と化してゐたが、獨ソ開戰によつて最近各國の暗躍振りは更に目覺ましいものがある、"捏造されたニュース"が盛んに撒き散らされ、第五列がしきりに動く、國外、國内の文書、電報が檢閲だらけ、中には届かぬことすら往々ある、タイは今や卍巴の外交暗躍の舞台なのだ、以下國際渦の中に渦巻くタイの裏表をお傳へしよう

街に亂る惡性デマ

獨ソ開戰の翌日から約一週間目の六月二十七、八日頃であつた、盤谷市内には"日ソ開戰せり"とのデマが飛んだ、主として支那系タイ人及び華僑の間にパッと流布された、その"もと"は香港よりの入電によるとのことだつた…

間諜の手先印度人

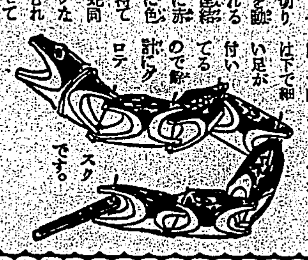
ダンサーも第五列

檢閲嚴重を極む

台灣の家庭
明日に生きる母と子
城南技藝指導所訪問記

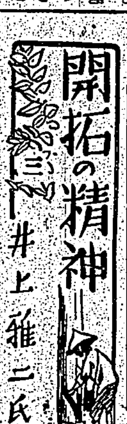
臺灣の玩具 (2) 立花壽氏

竹蛇



身についた習慣を
臺北市建成國民學校長 柿原宗寛氏

開拓の精神
井上雅二氏談



海水浴場開き

おいしいサラダを

商況（廿九日）
株式 高値賣狙 區々商狀

兜町前場況

東京短期前場

東京長期前場

大阪短期前場

大阪綿布前場

日用品小賣値段

肺結核に
治療 強壯 榮養の 三重奏
ネオスエー
榮養は補りに過ぎない根本的な治療が先決！

ビタミン含有 ヨード性 劑

慢性胃腸病に アルス胃腸藥

人形美と自然美に就て

人形の顏 もし、人…… 博士が苦……

● 頭痛にノーシン ●

ニキビと
素肌を美しくするためならエスゾールを

田邊販賣品
エキリジン錠
あらゆる下痢に

本劑は單なる止瀉、收斂劑に非ず、殺菌力と強秀し、一方腸壁の潰瘍面を被覆保護し新組織の再生を助長する……

急性腸カタル、食餌中毒、疫痢及び赤痢後患の…… 慢性下痢……

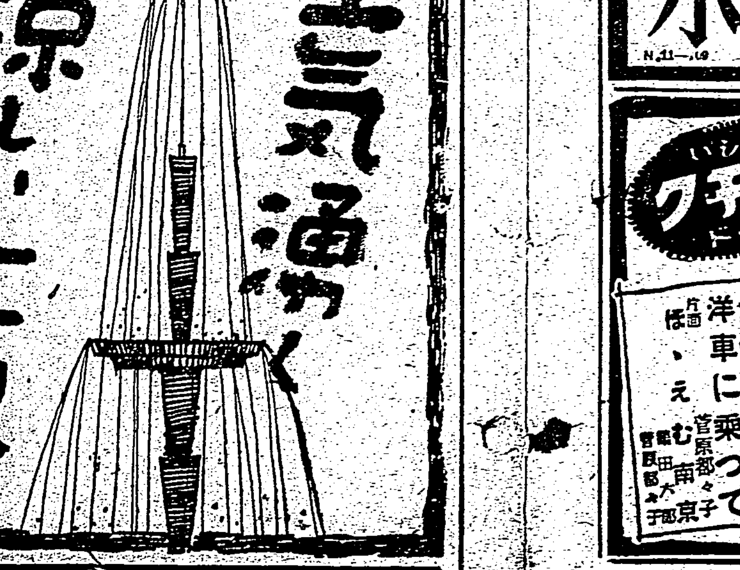
乳兒の胃腸強化

兒の胃腸病は大人と異り、急に全身的な衰弱となりますから油斷は出來ません。

細胞賦活作用

發育を助長す

錠劑 わかもと



生氣湧く涼しい仁丹

疲れたら 頭痛なら すぐ爽やかに 氣分晴々と新しく 活動の生氣を吹きかへします

仁丹數粒

夏は 家庭に、職場に、旅行に 手離せぬ 護身要藥

胃腸強化 疲勞恢復

成層圏（27）

廣津和郎作　大貫松三畫

謎の少女（二）

「まあ、もう一度よく見て下さい。あの時の繪とどれだけ違つたかを、一番見て貰ひたいのはあなたなのですから」

紙野は少女を「蒼科山」の前に引つぱつて行つた。少女はぢつと繪に見入つた。

「さうね。さういへばあの時と違つてゐるのか知ら。――わたし額縁に這入つたので、同じ繪が違つて見えるのかと思つてゐたけれど……」

「違つてゐるんですよ。すつかりやり直したんですよ」

そこに三浦が近づいて來た。

「僕を紹介して呉れよ」

「うん、よし。……これが三浦です。あの「樹林」を描いた男です」

と紙野は三浦を少女に紹介したが、併し少女の名が解らないので、

「この人なんだよ、僕が蓼科で會つたのは……」

「僕三浦實吉です。よろしく」

「わたし小峰あや子と申します……」

二人が會釋し合つてゐる間に立つて、紙野は彼女の名を忘れないやうに、「小峰あや子、小峰あや子」と口の中で呟いてゐた。

「紙野はすつかりあなたに感謝してゐるんですよ。こんなに繪にボリュームが出て來たのはあなたのお蔭だつて……」

「まあ、大變だ」

「いや、ほんたうですよ。僕等の眼から見ても、はつきり違つて來たところが見えるんですよ。――あなたも繪をお描きになるんですつてね」

「いいえ、わたし繪は好きですけれど、ほんたうに描くんぢやありませんの。あの時は退屈だつたものですから、妹の繪具箱を持出していたづら描きをしてゐましたの」

「ほう、すると何ですか。お妹さんが、繪をお描きになるんですか？」

「いいえ、妹もほんたうにやつてゐるわけぢやありませんけれど、病氣で信州の療養所に行くものですから、慰めに繪具箱なんか買ひましたの」

「お妹さんが御病氣なんですか？」

「ええ」

ちよいと眼を落して、暗い眼をした。

「もう隨分長い病氣ですの」

併しその事を追求されるのは好まない表情だつたので、三浦は直ぐそれに氣がつき、

「けれども、「山が小さい」なんていふ批評はなかなか普通の人には出ない批評ですよ。一言で急所をついてゐますからね。……一つ僕の繪も見て下さい」

「ほんたうはわたしなんか何も解りやしませんの」

さう云ひながらも、小峰あや子は別段怯む樣子はなかつた。三浦が「樹林」の前に彼女を引つぱつて行くと、彼女は畫面をずつと見入りながら、暫らく默つてゐたが、

「少し下の地面が賑過ぎやしませんか知ら」

「地面は僕は隨分苦心したんですけれどね」

「何だか繪が少し上に上り過ぎてやしないでせうか。地面の落ち付かないのもそのためではないでせうか。――御免なさい」

「ううむ」と唸つて三浦は腕組をしながら考へ込んだ。隨分地面には苦心したつもりであつた。二ケ月も三ケ月も落付かない氣がしていぢつてゐたのは地面であつた。その落付かなさはコンポジションの誤り――つまり地面が賑過ぎ、繪が上に上り過ぎてゐるためかも知れない。彼女のいふ通りかも知れない。

風景と歴史

1　―臺南の町について―

國分直一

臺南の町ではどこへいつても新綠の中に眞紅の花をつけて、今、鳳凰木が花咲いてゐる。鳳凰木といへばＩ・Ｎ氏の書いた臺南頌歌を思ひ出すのである。

驛前に立つたとき、僕はその華麗、豁燦さに聲をあげて叫びたかつた。全街鳳凰木の花とその葉の綠色で一ぱいだ。今まではくらは紅い花と綠とを仰々と見て來た。春の花、初夏の新綠である。ところが、ここでは春と夏との擧物を一度に見せてくれたので驚いたのである。

と、その「臺灣小ノート」に述べられてゐる。この土地に幾年も住んでゐると、聲をあげて叫ぶほどでもないが、この花によつて夏が來たことを思ふのである。

Ｉ・Ｎ氏の臺灣旅行はある事情から不幸に終つてしまうたが、その後臺灣を訪れる作家は隨分多くそのすべての人が臺南に憧憬れて臺南を訪ねてくれる。そして近年ではそのたいていの人が、臺灣のもつ喜びである『華麗島頌歌』の著者西川滿氏のお世話になつて南下してくる。さういふ人々の中で最近來られた春山行夫さんは流石に詩人らしく臺南の美しさを色々發掘してゆかれた。春山さんは臺南の自然と町の構成がよく調和してゐること、建築の上から見て古典と現代が調和してゐることなどを指摘された。

私は臺南の町を歩いてゐると、なだらかな勾配のあること、そのために町に影のやうな淡い變化のあることを樂しく思ふといふやうなことをその時話したと思ふ。

大臺に於いて驛前から大正通、放送局前の大通を通して南北に睨ぎつて走つてゐるが、見えてくる。この線の上に深夜靜かに立つと海鳴りの音が聞えてくる。

この町は總督にいふと南北の二粁、東西四粁乃至四・五粁十平行四邊形の臺地の西に寄中央部にその今夜をのせてゐるのである。この町はよく三百年の文化史をもつといはれるが、この町の形成される以前、幾百年かの昔から先史住民が臺地の周邊に占據してゐたことについてはあまり知られてゐないやうである。

さうした時代から鳳凰木の美しい近代都市の現代に至る迄臺南の風貌も變つて來てゐることであらう。然も今ならば尚歷史的遺跡や名蹟を通して風貌の推移を少しづつでも想像出來るのである。

アルバレスの臺灣の地理歷史誌一卷の挿繪によると蕃族の小さな部落とそれよりやや大きい漢人の部落が散在し、郊外では鹿を追ふものが見えてゐることよりすれば比較的近い時代まで先史聚落があつたことが思はれるのである。

オランダ時代にはタイオワンだとかサツカムだとかいつた地名がその記錄によく登場してゐる。臺地の周邊を歩いてみると多くの貝塚や遺物包含地が發見される。それが果して當時の部社の遺跡であるか、どうかは却々にきめ難い問題である。この土地の石器時代が大體いつ頃までのびて來てゐるかを決定することがむつかしいことであるから。

遺跡は多く臺地の傾斜面上にあり、空氣が美しく眺めのよい所にある。今では樹木がなく林投の生えてゐる所が多いが、それらの遺跡からは猪や鹿その他の獸骨が澤山出てくることよりすれば、もつと樹木の繁茂してゐた頃のことであらう。

大南門城壁の傍に巡撫臺灣府御史六十七の弔五妃墓の詩が石に刻まれてゐるが、その中に「刺桐花底林投畔」といふ詩句があるが、刺桐が多く林投が繁茂してゐたことを物語るものであらう。然し今や刺桐も稀にしか見ず、林投も次第にきりひらかれて、畑になつたり工場が立つたりしはじめた。それでも臺北周邊の地形には、はたと海波のよせてゐた頃をしのばせるに十分な穩くつきりと段丘を形成してゐる所があつて、その段丘の上に貝塚の貝が白く露呈してゐる所がある。

さうした遺跡は現在の繁華街のペーブメントの下にもたしかに埋まつてゐるに違ひないと思はれる。初夏の頃には臺地の周邊を爲すやうに埋める胡麻の花の白さに貝の白さがまぎれてフイールドワークにとまることがある。

夏のこの頃には胡麻の實は收穫されて油にされる。

胡麻や落花生の間からみつけた珍しいスレートや砂炭やオリイビン・バサルトやでの他の樣々の石質の石斧や石庖丁やその他の石器を見てゐると山のない、そして岩石をもたぬこの土地の單調な風物が自然にまで上つてくるとともに如何にしてかうした多樣の岩石をどこからもちはこびしやといつた問題について色々に回想されるのである。

土器の中には單調な自然と素朴な生命組織が生み出すにしてはあまり美しく多樣な變化に富む紋様をもつ土器があつたりして、夕陽を浴びて砂丘の上に立ちすくむことがある。（筆者は史學家）

臺地風景（渡邊季雄氏撮影）

漢詩・魏清徳選

次雪漁先生留別韻　倪炳煌

東山絲竹助餘年。搖筆吟懷賦別筵。世界風雲頭尾日。男兒出處行權。閩山名勝來懷古。谿谷招提好結緣。自是騷壇孤客感。天倫樂敍共悠然。

親和祭席上口占　葉陶仙

芒々彫影與前塵。會愛親和愈喜親。聽得群公能濟世。無才容我修身。

自題北投開雲別業　白雨　多田菊屋

湖海歸來惡廣深。隨緣相愛變晴陰。此情大似閒雲懶。相對無由作雨霖。

白雨何曾說晴雨。呼歐歸去聽雲眠。屏除炎暑敲鐘去。高枕禪師宛蜜眠。

勝利の歴史特別公開

二十四棋士勝繼戰

八段　金子金五郎　先手　八段　松下力

達人の至藝　觀戰記

黒堅實に押す

評解　七段　小野田千代太郎

松竹大船女優總動員映畫　30日と31日　女性の覺悟　前後篇　大會　臺劇

毛をはやせ　森下みや子

厚生省指定消毒藥　デシン
公衆衛生運動　傳染病は銃後の敵！豫防消毒刻下の急務!! 對岸の火災視する勿れ!!!
營業種目　クレゾール石鹸液　キシレノール石鹸液　ホルマリン石鹸液　消毒用メタノール　消毒用キシレ
消毒藥は品質本位　ゴトー製にきまつた!!
在來の石油乳劑に優る　一、特許乳劑　一、ＡＢＣデシンフエクトール
本剤はオルソザクロールベンゾール製剤、製産大量、滅菌力强大、芳香性を發揮し大量使用に適す
後藤デシン本舗　△知名藥店に販賣す

わきが　療法　無代進呈　日本醫藥研究所

婦人良藥　サフラン入人參　藥草湯

本年度最高の超スペクタクル　大紐育
LITTLE OLD NEW YORK
30日封切　東寶文化映畫☆
主演　アリス・フエイ　リチャード・グリーン　ブレンダ・ジョイス
共演　島倉卯
帆船に代る川蒸汽船の發明、それと共に隆盛なる紐育港の全貌、世の迫害、嘲罵と戰ふ發明者の苦難を描いた絢爛たる大篇
廿世紀フォックス
東寶直營國際館

ビタミンB1高單位療法に
胃腸　脚氣　榮養　疲勞
胃腸無力症　食慾不振　脚氣の治療と豫防　肺結核　病中及疲勞の恢復に
強力メタボリン錠
武田長兵衛商店

臺灣日日新報
本日夕刊共八頁

佛印の共同防衛　わが陸海軍増派
大本營昨夕八時發表

【東京發同盟】大本營陸海軍部二十九日午後八時發表＝帝國と佛國との間に今般成立せし佛領印度支那に關する共同防衛の取極めに基き、七月二十九日我が陸海軍部隊を佛印に増派せられたり

南支艦隊、陸軍部隊　〇〇附近に到着
佛印、日章旗掲げ歡迎

【〇〇艦上にて二十九日發同盟】南支艦隊報道部二十九日午後九時發表
我が南支艦隊は陸軍部隊と共に本二十九日〇〇附近に到着せり、我が部隊に對する佛印當局の態度は極めて友好的にして附近多數官民は日章旗を掲げ歡迎の意を表しつつあり

重慶英米側合作の　佛印包圍態勢破碎
皇國當然の自衛措置

佛印防衛、軍事協力　日佛議定書調印
昨日ヴイシーに於て

佛領印度支那の共同防衛に關する日本フランス國間議定書

直ちに發效
緊張事態拂拭迄有效

陸大行幸御取止め仰せ出さる

泰國寧ろ…
英勢力後…

國際陰謀の策源地　西貢の不安を一掃

英領ボルネオにも　取引取締規則適用

帝國、斷乎默認せず　蘭印の出方を嚴重監視

米側に追隨の蘭印
東京・バタビア國際電話問答

和蘭、蘭印にも　取締規則適用

…慶爆撃　將陣營を徹底的に爆碎

皇軍、阜寧に突入
新四軍の重要據點占領

英米向け輸出品　上海通關を停止
主要輸出品全部を網羅

定例閣議

若杉公使急遽歸朝
米國事情報告

生系屑絹織維　對米報復斷行

對外取引取締規則臺灣施行
けふ府令公布

手形交換一般許可第二號を發令

佛印燐礦開發會社
愈よ近く創設の運び

カナダも邦船を抑留せず
米の對日石油輸出引續き許可か

興亞同盟人事決定

スモレンスク方面　依然戰鬪展開中

短波

鈴木商店　味の素本舗　東京　鈴木食品工業株式會社

八月號　俳句研究　短歌研究

二歳から四歳までの幼兒のために！
新企畫の幼兒繪本　三冊
これまでの繪本觀念を一掃して幼兒心理に立脚し、二歳から四歳までの幼兒むきに、鑑賞・觀察と情操陶冶を兼ねた、玩具代用の新案繪本。

山下俊郎監修
ワタクシ　川上四郎・長谷川露二外數氏畫
オモチャ　布目虹夢畫
オダウグ　中西稀吾畫
本書は日本最初の劃期的繪本として、材料に、繪畫に、或は又製版印刷に至るまで、大いなる苦心考慮が拂はれてゐます。
定價各三十五錢
東京・神田・一ツ橋　振替東京四五一〇七　小學館

全部讀切銷夏讀物滿載の八月號
第一讀物
浪曲小說　四國義民傳　加藤武雄
愛情　稚き芽　河内仙介
時代　輕輩躍進　小島健三
南進時代　南龍丸異聞　東禪寺龍之介
防諜探偵　救世主降誕　北町一郎
職人氣質　書肆屋の娘　野沢純

婦女界社

社說

爪哇糖業を崩潰に導くもの
臺灣、海南島の糖業開發に拍車

米英の對日資金凍結に續いて蘭印も亦同一歩調に出で資金凍結令を布くと共に對日輸出入を制限する旨發明した。蘭印は地理的關係から云つても當然大東亞共榮圏の範圍に入るべきものであるが、…

綜合物價政策樹立緊要
近く臺灣中央物價委員會開催
來月匆々幹事會で具體的打合せ

戰時物價對策は戰時經濟政策の核心をなすものであり、…

國策上必要なら配當制限にも協力
藤山愛一郎氏談

臺鐵の新造車輛
本省で一貫製作
規格統一と竣成促進期待

計畫的需給策確立へ
改訂島内製作機械器具統制要綱

企畫部發表

趣旨

島内製作機械器具統制要綱改訂

島内製作機械器具統制範圍外鐵鋼製品名

別表

島内製作機器材料審查會規定

臺灣總督府企畫部

臺灣鐵工業協會 材料審查會

臺灣發注の新造船價格
今後は若干引下

商工銀行總會
六分配當可決

鹽糖溪州製糖所
買收價格六圓四十錢
獎勵方針 地方別事情加味

臺灣茶輸出對策

內地青果物統制
根本的改正

二林製糖所長作獎勵規定發表

麥粉移入統制組合
きのふ初總會開催

臺灣瓦斯總會
上期の瓦斯需要一割三分の增加

配電統制懇談會
公納金九十五%まで認む

本島の轉業
好成績
臺灣商議所發表

證券業者信用調查
月末には終了
不正業者を徹底的に掃扶

內外商況 (廿九日)

株式

外電 (廿八日發 廿九日着)

《北濱展望》

大阪長期後場

大阪短期後場

東京長期後場

汗の出るところに…ら
あせも・べとつく…夏の肌に毎日の手當が必要
てんへ。ら

日本の決意
世界決勝戰前夜の日本…橋本欣五郎
新情勢と南方問題…平貞藏
日本の決意…津久井龍雄
特輯 獨ソ戰
獨ソ戰後の國際情勢…鹿島守之助
ソ聯の立場…馬場秀夫
滯獨一年記…齋藤直幹
戰時下ドイツの印象…小塚新一郎
體驗としての經濟學…大熊信行
商品の科學性…森川覺三
米價問題と農業新體制…奥谷松治
職場に於ける國民主義…穗積七郎
新生支那の土地問題…藤枝丈夫
日本的世界觀
經濟の日本的構造…難波田春夫
「みそぎ」の精神…清原貞雄
日本神話と世界觀…肥後和男
國學の再建…保田與重郎

日本評論
八月號 定價一圓

世界大戰と日本經濟(經濟時評)…本位田祥男
モスコー大場彌平
進擊今昔譚…菊岡久利
青年有事論…石田波鄉
濡れ緣…辻哲郎
田邊元と和辻哲郎…樺俊雄
耕作と秀磨…野村光一
山里…阿部知二
歸鄉有感…立野信之
天草の記…榊山潤
文藝時評…中島健藏
國民映畫について…津村秀夫
アメリカ對日輿論調查…編輯部
世界動亂と日本…川田秀穂
戰爭と圖書館…竹林熊彥

日本科學技術のために(座談會)
出席者 杉森孝次郎 松前重義 菅井準一 石原勵 青柳芳彥 後藤正夫 本多靜雄 本誌記者

空想と現實…正宗白鳥
能と傳統…桑木嚴翼

小說
夏…蔭山眞船豊
アンジまうで…野上彌生子
ソ聯より歸りて…菱森唯士

獨ソ戰一瞬間…國民の運動、再組織、伏室…高信
日本評論社

皇軍南佛印を壓す
堂々の市中行進
見惚れる黒山の安南人

【〇〇にて二十九日發 同盟特派員】南海の東空が薔薇色に薄らいだ二十九日未明南部佛印〇〇沖合かに最後の〇安に護られた護送船團の男姿が朝靄の中にくつきりと浮び上つた、これに呼應して司令部に定められたグランドホテルの屋上には上陸地點指示の日の丸が高々と揚げられ海にも日の丸が立てられる、軈て沖に點々と真白い波が立つた、内火艇が白波を蹴つてやつて來たのだ、その黑い塊が波打際に止まるか止まらない間に中隊部隊長が跳り上るやうに白砂の上に跳び移つた、續いて物々しく武裝した將兵が各艇から續々跳り出た、忽ち〇〇の海岸は逞しい皇軍の姿で溢れる今こそ南佛印の地に皇軍が第一歩を印したのだ、然もあまりにも平穏に皇軍增兵を迎へる、中隊長は出迎へた〇〇部隊長の手を固く握る、次いで佛印派遣將校ルグラン中佐が飛出して來て挨拶する、海岸には續いて上陸した皇軍が整然と整列する、物見高い安南人が安南兵の制止を肯かず遠巻に黒山の様に集まつて東亞の盟主日本軍の勇姿に見とれ南國特有の太陽の直射は海岸一帯に何にもなげに其の强烈な光りを投げて居る、軈て全部隊の上陸が完了、午後一時を期して各部隊は堂々市内行進を起し各所定の駐屯所に向つた

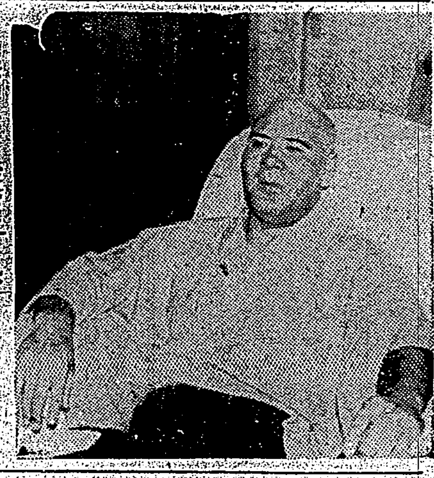
大船團世紀の前進
南太平洋に鐵壁の布陣

【〇〇船上にて二十九日同盟特派員】常夏の國への堂々たる前進が愈々開始された、世界に比類なき日本軍が今回は歴史的平和の大使命を帯びて南部佛印に鐵壁の陣を進めるのだ、〇月〇日基地〇〇の背後の山々を壓して、折柄むくむくとわき上つた入道雲を後に夕陽に映える海浪を蹴立てて、〇〇隻の輸送船團は四邊を壓して大行進を起した「除け平和攪亂者、國際陰謀から佛印を守れ」の意氣が全船團を貫き整然と南太平洋を壓してゐる續いて豪大行動を起し一大船列を展開した我等の船團を見はるかす者誰ぞ、これぞ將に世紀の前進と叫ばざるを得なかつた、各煙突からもうもうと吹出される黑煙は南西の風に流れて海面低く、時折後に先に羊の群を守る牧犬の如き灰色の帝國軍艦の頼母しい姿、空には突如として日の丸輝く銀翼に南海の強烈な陽光をはね返しつつ艦載機が颯爽の如く勇姿を現はす、夜ともなれば完全な燈火管制の中に〇〇隻に垂々とする一大船列の〇列縦隊は一糸亂れず暗夜行を續ける朝の目醒めに昨夜と寸分違はぬ整形を守前に見ては今更の如く海國日本の威容に瞠如たるを思ふ、平和增兵とは云へ、皇軍の陣容は恰も一大決戦に赴くが如きものがある、斯くて武の國日本の治に居て亂に備へる真面目を南海の涯に示さんとするに相應しい態勢である、きのふもけふも快晴、炎熱灼くが如き海風も汗を拭ひ去らぬが將兵の士氣愈々旺盛その意氣將に天に沖するものがある

共榮圏に躍出た臺灣
本間軍司令官に佛印增兵を聽く
文廻の描く意味深い圓

帝國は二十九日陸海軍部隊が佛印に增兵された旨の新事態を中外に發表した、東亞共榮圏確立と八紘一宇の大精神に基く帝國の断乎たる態度である、併し乍ら昨今の情勢は吾が共榮圏確立を曲解し横暴的妨害に出づる反樞軸國家群の動向に對し益々強固なる決意が必要となつた、二十九日右佛印に增兵發表に際し本間臺灣軍司令官に共榮圏の心臓部たる臺灣島民の心構へに就いて聞けば單なる從來の觀念的段階から積極的現實的建設への當然の移行にして欣快に堪へぬと大要次の如く語つた

臺灣の立場からものを云へば日本の東亞共榮圏といふものを吾々が理解する範圍に於いて蘭印を入れて考へると臺灣を中心に樺太を入れてコンパスを廻してみると蘭印のジャバ、スマトラが此の弧の中に入りより大きなものとなるわけである、かうしてみると中心が臺灣に移つたと云へるそこで益々吾々臺灣に於ける使命を忘れられない、現在迄の實質的勢力はハノイが其の圓周上に置かれて遺憾乍ら共榮圏の核心として現在の情勢では南進基地と云ふものの内容が伴はなかつたその意味で共同防衛といふ措置は東亞共榮圏確立が愈々完成に一歩も二歩も接近したとみてよからう、然も更に引續き今回平和裡に增兵を完了した我が帝國の東亞共榮圏確立の意図を理解し欣然參加の態度をみせた佛印は誠に喜ばしく樞軸國日本に接近して來た證左である、願はくは蘭印も賢明なる現實に協同態度を以て參加して貰ひたい、然らざる如く帝國の共榮圏建設に依つて將來後悔する時期が來なければよいと思つてゐる（寫眞は官邸で語る本間軍司令官）



松本要港部參謀長 來北

松本要港部參謀長は成田參謀を帯同各地視察のため二十八日馬公發二十九日高雄を視察、午後六時十八分臺北驛着の列車で來北在臺海軍武官府より差廻しの自動車で同府に赴き酒井海軍武官に來北の挨拶を述べたが、松本參謀長は左の如く語る

着任以來初めての視察だが別に意味はないよ、三十日は總督並に知事を訪問夫々挨拶を述べ、午後臺中に向ふ豫定だ【寫眞は臺北驛着の松本參謀長】

罪の子ら海に更生
基隆に『海洋少年訓練道場』生る

【基隆電話】かりそめに犯した罪にいぢけた少年達の小さい魂を大海原の彼方へ伸び伸びと發散させて"海の民"として新しい出發をさせてやりたいとの臺北司法保護聯盟の親心が實を結び検察局、刑務所、海務協會などの後援の下に起訴猶豫、執行猶豫の所謂不良少年達を各方面から選定して、海洋と船舶に關する知識を付與するとともに海を恐れずの信念と勇氣とを興へ上げる修養場"海洋少年訓練道場"が基隆市八斗子海岸に設置される事になつた、道場に收容される少年達は、郡々事情聴取の上全島から選定し收容人員は約十名、訓練期間は二ケ月で此の間に專門の指導者の下に海洋、船舶、あらゆる海に關する知識を吸收し海に恐れず、過去にこだはらずの海國日本の島國民としての魂の修養を終た上新しい海の戰士へと送出する事になつてゐるが、此の全日本にも珍らしい海洋少年訓練の成果は、各方面から期待されてゐるが、道場が開かれるのは九月上旬になる見込である

防諜取締に力瘤
新検事總長の抱負

嘉中、嘉農に快勝
全島中等野球準決勝戰

北一師辛勝

けふ決勝戰

熱血の志願兵
軍司令部受付

新竹州水利施設擴充近く工事に着手

日本に絶大な信頼
華僑の反日も完封
西原少將語る

ラヂオ

智的
ビブン大將の印象

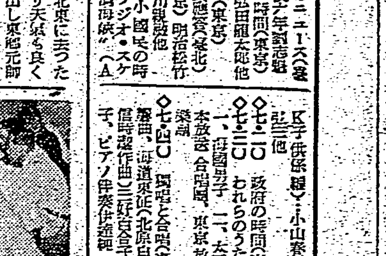
厦門は臺灣の子供

奉公會の婦人推進員
新竹市支會で兩女史内定

海洋氣魄に世界的な功績

クルベー濱で攻防演習

國婦でも指導者錬成
國民精神研修講習會

長谷川總督


接客業者に時局を説く

防火班訓練

ソ聯より歸りて… 茂森唯士

各地綜合版

治安の確保を期す 警民協會發會式
きのふ臺南州會議室で擧行

民警一致

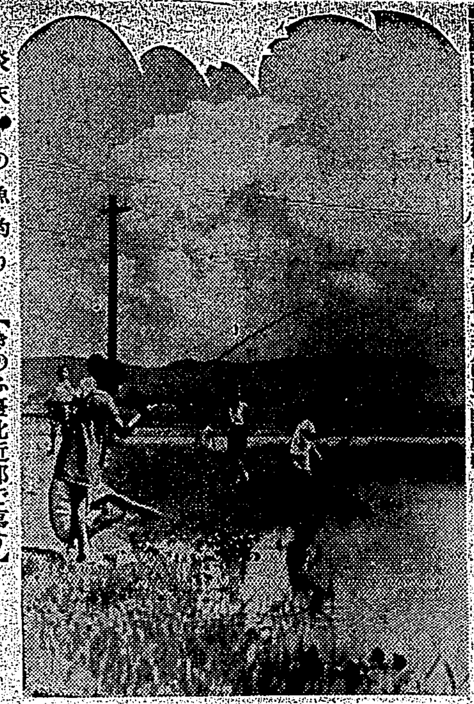
壯丁團幹部を再教育
虎尾郡で皇民錬成講習會

國講講師に行の修錬
員林郡で講師講習會開催

出征軍人遺家族慰安會

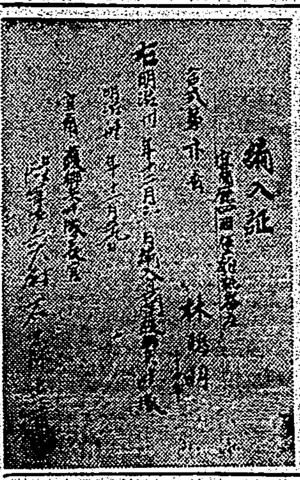
國語常用の氣風釀成
皇民塾愈よ開講
八月一日 嘉義郡下一齊に

神饌田植祭



炎天下の魚釣り（きのふ臺北近郊で寫す）

志願兵制の先驅 宜蘭護鄉兵中隊
（下）林聰明翁に當時の話を聽く



聖戰・想出の畫帖 (22)
將兵の行動悉くが 眞の日本人の姿

總體的に身體貧弱
壯丁の三五パーセントは有患者
高雄市內本島人壯丁の體力檢査

生活刷新婦人座談會
きのふ皇民奉公會花蓮港廳支部で

忠靈塔整地 虎尾勤勞奉仕隊

嘉義市方委陣强化

臺中州下 理蕃事務打合會終る

青年挺身隊員募集
高雄皇民錬成協力會で

感謝の夕
志願兵制實施

屏東市國民學校長會議開催

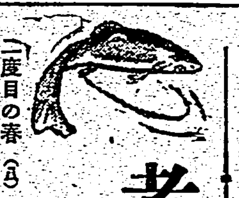
嘉義市で第三種防空訓練

同志會澎湖支部解散

驚歎街職員に訓練實施

老春 (158)
川口松太郎作 伊勢良夫畫

度目の春（8）



興亞の礎 保險で築け
富國徵兵

顏は何故洗ふ
レオン洗顏クリーム

靈醫術始祖 天眞道主 田村靈祥先生が病者弱者に送る魂の名著
不思議、自分にこんな强い力があらうとは知らなかつたと全讀者たゞ驚嘆！全國的反響は益々奔騰！
心身苦脫 神の力と人の力 普及版 一圓五十錢
靈的健康法 一圓五十錢
ハガキ一枚の御申込みで… 代金後拂ひ
東京小石川區 天眞道本部

夏でもお化粧崩れが防げる！
數滴でお化粧の美しさも持ちも違ふ
夏のお化粧はナゼ早く崩れるか？
アストリンゼンで化粧崩れが防げる
明色アストリンゼン

Bosch
ボッシュ製品は五拾有餘年の貴重なる經驗を有す
獨逸國ロバートボッシュ會社 日本總代理店
イリス商會ボッシュ部

●頭痛にノーシン●

下痢、食餌中毒に
エキリジン錠
田邊販賣品